

## キャリア・ディベロップメント 担当：四木信/OWL仕事研究室 6回講座の内容

6/22、6/29、7/6 《夏期休暇》 9/28、10/5、10/12、水 14:50-16:20、A21教室 2005/10/12記

テーマ:自らの「仕事と人生」を、主体的に、人と関わりながら、創っていく 「自分づくり」=「社会づくり」

- ・人生形成の芯となる仕事観。仕事観 仕事づくり 人生づくり 自分づくり。
- ・聞く、話す、読む、書くことによって、人の心を理解し、自分の仕事観を充実させる。
- ・インタビュー・編集作業を通して、自己を客観できる能力を高める。
- ・「私閉人間」から「公開人間」へ、そして「活動(仕事をする)人間」へ。

### 1 受講者全員が「私の人生観(私はこう生きたい)」「私の人生テーマ」を、話して、書く 《6/22》

- ・あなたは人生をどのように考えていますか？ 人生をどのように生きたいですか？ 本気で生きようと心に決めた経験、ありますか？ 今、自らの人生を賭けて考えていること、活動していること、ありますか？ 自らが価値あると思える人生テーマをもって生きていますか？

本気とは、自らの死と向き合って、人生をどう生きるか、生きる態度を決めること。

- ・「自らの人生」への想いを、思いつくまま話してみよう。そして、自分の言葉を整理しながら、「私の人生観」「私の人生テーマ」を文章にまとめることによって、自己理解を深めよう。
- ・すぐに思いつかない人は、もう一人の「私」からのインタビューに応えるつもりになって、自分をできるだけ外から客観的に見つめて、ありのままの今の自分と向かい合い、今後の人生の生き方を考えてみよう。

- \* 「私の人生観」「私の人生テーマ」などを、誰かに伝え話すように、手紙を書いているつもりで、文章にまとめる。 自己を客観的に認識する / 最後20分間

### 2 ささまざまな方の「仕事観・人生観・自分づくり」を理解し、参考にしながら、受講者全員が「私の仕事観(私にとって仕事とは何か)」を考え、公開を前提にして文章にまとめる 《6/29》

四木の「仕事観」

- ・「為すことによって在る」
- ・自らが本気で打ち込める価値あるテーマをもって生きる、仕事をする。

河合隼雄

- ・「生きることと仕事」
- ・「自分の物語を創り出すきっかけとなる場」

平田 哲

- ・「第二の誕生 / 職業と人生」

聞く・読む(=入力) メモを取る(=消化) 話す・書く(=出力・発信=主体的学び)

「他人が読んでわかるように」と心がけて書くことによって、自己客観力、表現力、コミュニケーション力を訓練する

- \* 「私の仕事観(私にとって仕事とは何か)」を、メモを参考にしながら、自己を客観しながら、誰かに話すように、手紙を書くように、公開を前提にして、文章にまとめる / 最後20分間

### 3 A 前回書いた「私の仕事観(私にとって仕事とは何か)」を公開・発表+意見交換 《7/6》

#### B ささまざまな方の「仕事観・人生観」を参考にしながら、自らの「仕事づくり」を考える

尾高邦雄

- ・「職業とは何か」職業の三要素：個性の発揮、役割の実現、生計の維持

内村鑑三/山本七平

- ・「なる」と「する」と

C これからの自らの具体的「私の仕事づくり道」を構想し、  
誰かに話すように、手紙を書くように、公開を前提にして、文章にまとめる / 最後20分間

3 自由課題：インタビュー「私の仕事づくり道」 《夏期休暇中》  
対象：あこがれの仕事人、共感する考え方・生き方の人、教師、先輩、親、etc

インタビュー内容を、文章にまとめる。できれば文章と写真(相手+自分+)をHPに公開する。  
参)キャリナビ <http://www.carinavi.org/> 大学生が大人(ナビゲーター)を取材しHPにアップ。

4 A 前回書いた「私の仕事づくり道」を公開+発表+意見交換 《9/28》

B 様々な「仕事観・人生観」を参考に、人生形成の芯となる「私の職業観・仕事観」を深める  
(当初はインタビューゲームを予定していたが変更して、もう少し先人の「仕事観・人生観」を  
学び、自ら「仕事観・人生観」を深めることにした。)

夏目漱石

- ・現代日本の開化は皮相上滑りの開化である  
上田閑照
- ・「私とは何か」「私は、私ならずして、私である」  
河合隼雄
- ・『自分探し』のパラドックス

5 様々な方の考え方を参考に、人生形成の芯となる「私の職業観・仕事観」を深める 《10/5》

坂本竜馬/司馬遼太郎

- ・「人間はなんのために生きちよるか」「世に生を得るは事を成すにあり」  
アレント
- ・「活動的生活と人間の条件」「労働、仕事、活動」  
サルトル
- ・「実存は本質に先行する」
- ・行動のなか以外に現実はない。人間は彼自身の投企以外の何ものでもない。

6 様々な方の考え方を参考に、人生形成の芯となる「私の職業観・仕事観」を深める 《10/12》

フランクフル

- ・「いつかは死ぬからこそ、なにかやろうと思う」  
養老孟司
- ・「意味は外部にある」
- ・「自己実現」などといいますが、自分が何かを実現する場は外部にしか存在しない。  
上田紀行
- ・「意味の創造者としての“私”」
- ・人は、死を自覚することによって、我を忘れて、(何かを為そうと)仕事をする
- ・仕事づくりとは、自己の外に、価値ある世界をつくること 人生づくり 自分づくり
- ・「私閉人間」から「公開人間」へ 公共的・社会的な「自己の世界」をつくっていく

以上